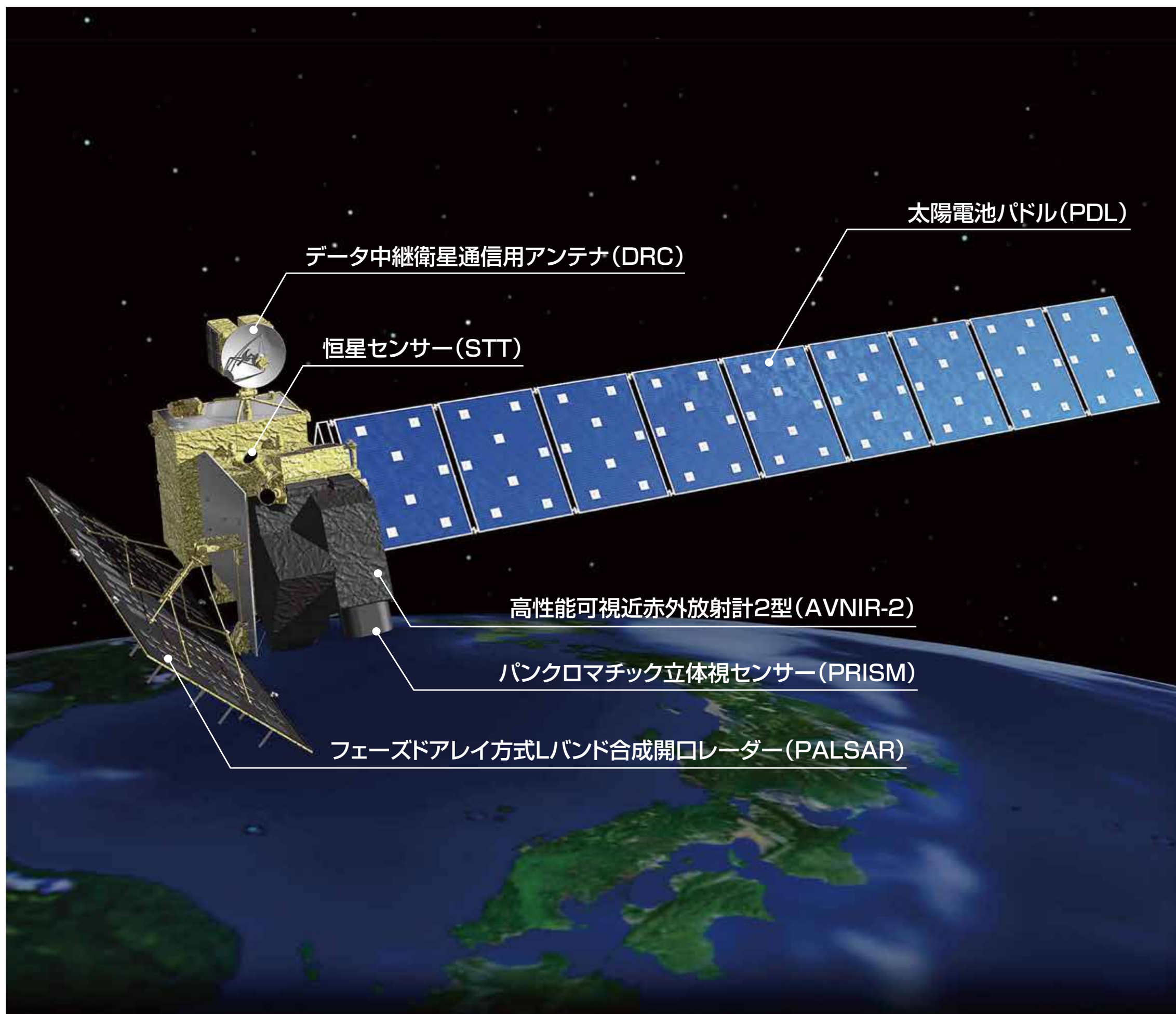


陸域観測技術衛星 「だいち」



宇宙から大地を見つめる目

●ここがスゴイ！

宇宙から自分の家が見える！

パンクロマチック立体視センサー(PRISM)

「だいち」が搭載している高精度センサー「パンクロマチック立体視センサー」は、地上の細かい様子を3方向から観測することができるため、高度700kmもの高さからでも、民家や列車などを識別することができます。

災害時にもセンサの首フリ機能が大活躍！

高性能可視近赤外放射計2型(AVNIR-2)

災害が起こったときなどの緊急時には、衛星直下以外の領域を観測することが必要なケースもあります。そんなときは「高性能可視近赤外放射計2型」の首フリ機能が必要な地域を即座にポインティング！素早く被災地のデータを取得することができます。地上からは、災害が起こっているため、なかなか近づけなかったりなど、とても難しい被災地のデータ取得ですが、宇宙にいる「だいち」なら、どこにいても最短2日で画像を地上に送ることができます。

真っ暗闇でもバッチリ見える高性能レーダー！

フェーズドアレイ方式Lバンド合成開口レーダー(PALSAR)

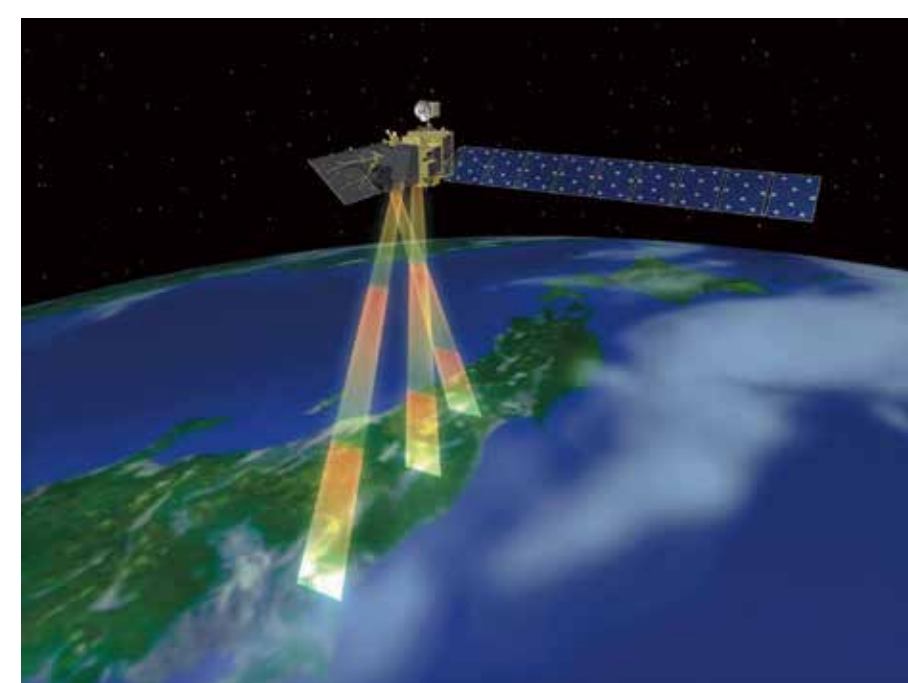
空を覆う分厚い雲も、真っ暗な闇夜もなんのその。「だいち」に搭載されているレーダーである「フェーズドアレイ方式Lバンド合成開口レーダー」を利用すれば、曇りや雨、さらに夜でも地表の様子を正確に観測できます。

①こんな形、性能の衛星です

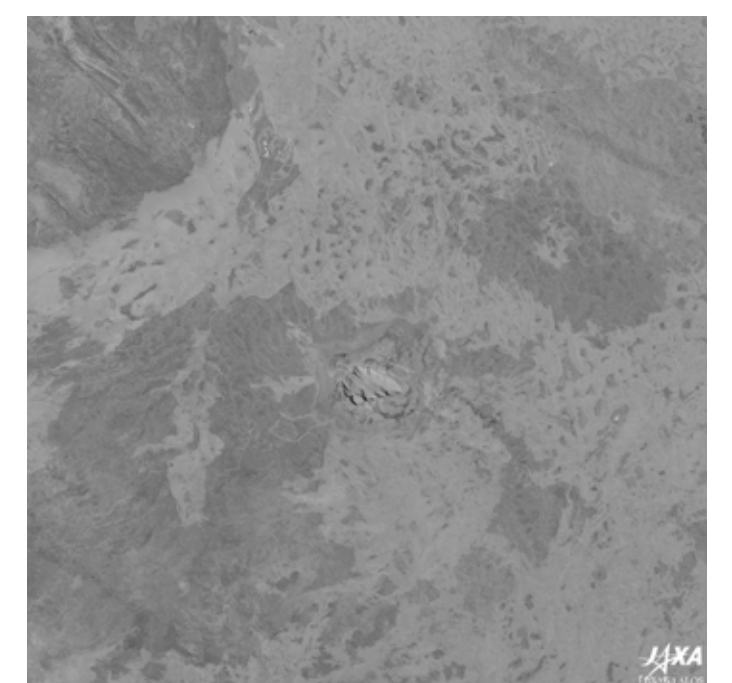
項目		仕様
打ち上げ	時期	2006(平成18)年1月24日 10:33
	場所	種子島宇宙センター
	打ち上げロケット	H-IIAロケット8号機
構造	質量	約4,000kg
	形状	一翼式太陽電池パドル、フェーズドアレイ方式Lバンド合成開口レーダー、データ中継衛星通信部のアンテナを有する箱型
		本体 : 約6.2m×3.5m×4.0m
		太陽電池パドル : 約3.1m×約22.2m
軌道	PALSARアンテナ	約8.9m×3.1m
	高度	約690km(軌道長半径7,070km)
	傾斜角	約98度
種類	種類	太陽同期準回帰軌道(回帰日数: 46日)
	周期	約99分
	ミッション期間	2011年5月12日運用終了

②開発の目的と役割

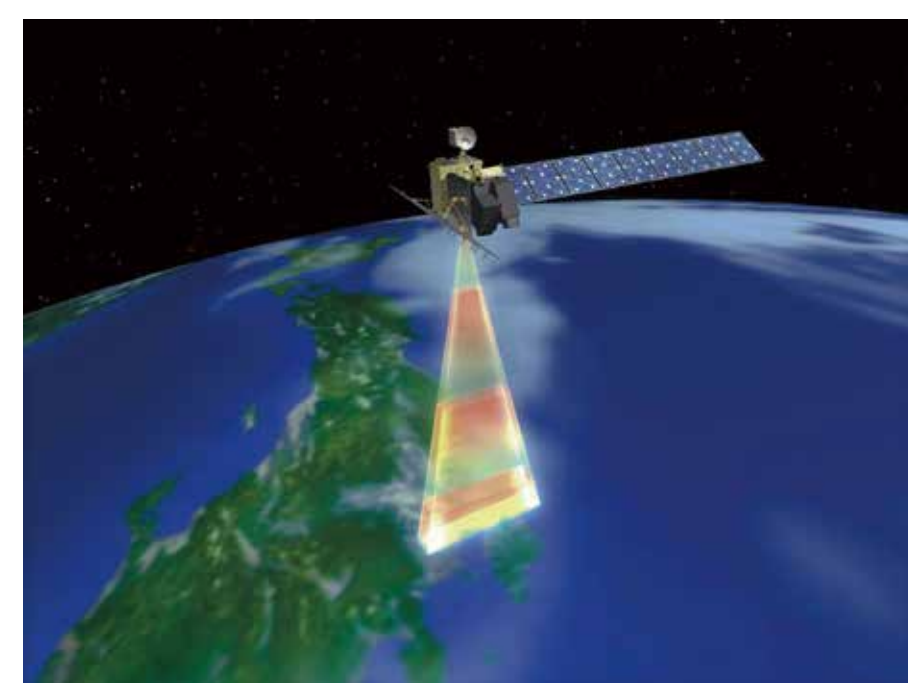
- 地図作成**
国内およびアジア太平洋地域等の諸外国の地図の作成
- 地域観測**
持続可能な開発を達成するため、世界各地域の開発状況とその変化の観測
- 災害状況把握**
地震、洪水、火山噴火、津波、火災等の国内外の大規模災害の迅速な状況把握
- 資源探査**
国際協力による国内外の資源探査
- 技術開発**
高精度位置・姿勢決定技術等、将来の地球観測に必要な技術の開発



(PRISM)



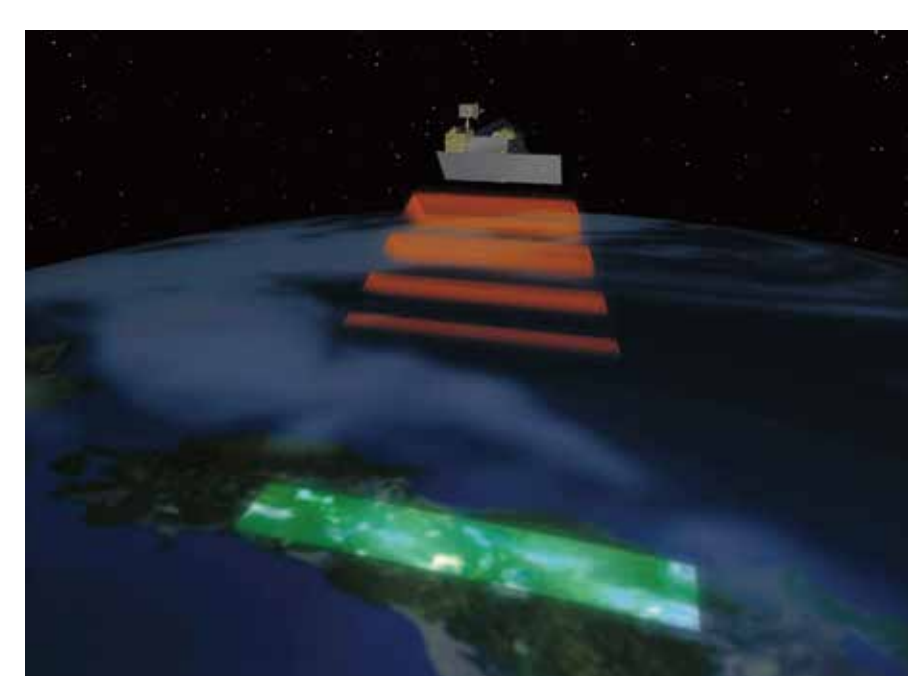
PRISMで撮影したアエズロック



(AVNIR-2)



AVNIR-2で撮影した青森県



(PALSAR)



PALSARで撮影した佐渡島